

本庄東高等学校附属中学校における安全対策の取り組みについて

【1. 学習環境づくり】

(1) 基本的な感染症対策の徹底

①石けんでの手洗い（登校直後・昼食前後・体育の授業など外から教室等に入るとき・トイレの後等）の徹底・手指消毒アルコールの活用、咳エチケットなどの基本的な感染症対策に関する指導を行います。

②登校時、生徒の検温結果及び健康状態を把握します。登校時の健康状態の把握には【健康観察カード】を活用します。家庭で体温や健康状態が確認できなかった生徒については、登校時、保健室で検温及び健康観察を行います。

(2) 身体的距離の確保

当面は、座席間を離して着席するなど、できるだけ生徒間の距離を確保します。席間を1m以上離して交互に着席します。

(3) 教室内の換気

可能な限り窓は常時開けておきます。これが難しい場合は、1時間に1回、5分～10分程度換気をします。その際、原則として2方向の窓を同時に開け、休み時間には廊下側の窓・扉のすべてを開放することで換気を徹底します。

室温にも注意し、必要に応じ、生徒の服装についても配慮します。

(4) 消毒液を使った清掃の実施

学校ではアルコール消毒液と0.05%の次亜塩素酸ナトリウム等を用いて清拭する等、消毒を行います。

【2. 心のケアについて】

学級担任や養護教諭等を中心としたきめ細やかな健康観察等から、生徒等の状況を的確に把握し、健康相談等の実施やスクールカウンセラー等による支援を行うなどして、心の健康問題に適切に取り組みます。

【3. その他】

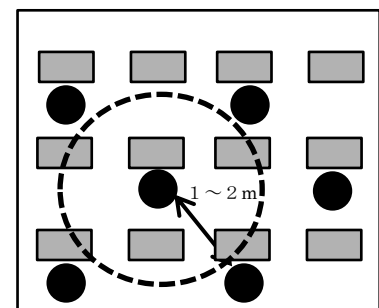
(1) 各自で、マスクの着用をお願い致します。

(2) 自宅で検温及び健康状態を【健康観察カード】に記入し毎日持参してください。それまではスタディサプリの健康観察アンケートを続けてください。

(3) 登下校は、密集にならないように指導を行います。

(4) 8日より給食が始まりますが、当面はお弁当の形態で提供します。

【座席配置のイメージ】



机 生徒